



くなり、スイスイ進んでいけるようになりました。また、ゴリ取りにも夢中になり特に女子が根気強く取っていました。

その夜は各家庭での交流となりました。やまびこカーニバルに参加した団員の中には、ビンゴ大会で特等などが当たった児童もいてみんなで大喜びしたことでした。

3日目 (8月5日)

3日目は各受け入れ家庭の方々と海に川にと様々な体験をし、たのしい時間を過ごし、夜のお別れ交流会では3日間で学習したこと、体験したことなどを振り返り、更に親睦を深めながらの交流会となりました。

4日目 (8月6日)

最終日、使節団員は役場前に集合し町関係者、受け入れ家庭の方々に見送られながら土佐町の子どもたちとともに土佐町を出発しました。

桂浜で、坂本龍馬像や桂月先生記念碑をバックに記



念撮影をした後、家族や友達へのお土産をたくさん買いバスに乗り込みました。その後、高知龍馬空港に到着。使節団員たちは見送

りに来ていた土佐町の子どもたちと最後のお別れをし、たくさんさんの思い出を胸に帰路につきました。



「もう一度行きたいな！」

沢田小学校6年 音道健太



僕が「もう一度行きたいな！」と思った所は、六つあります。

一つ目は、最初の飛行機に乗ったことです。乗った時は、すこしこわかったけど乗ってみるとすごく楽しかったです。

二つ目は、カヌーの体験や川遊びです。カヌー体験をするときにおしえてくれた人たちのおしえかたがうまくて、すぐにこぐことができました。川遊びでは、僕が亀をみつけたし、たくさんゴリをとることができました。

三つ目は、受け入れ家ていの氏次さんが優しくせつしてくれてうれしかったし、家の周りにある遊具やツリーハウスで、達也君といっしょにあそびました。すごく楽しかったです。また2月に、達也くんが十和田にくるので、そのときは、ぼくが高知県に行ったときよりもたくさんの交流をさせてあげれば、達也くんも楽しいと思うので、させてあげたいです。

四つ目は、やまびこカーニバルへ行って花火大会などをみれて楽しめました。それと、ビンゴ大会で一番先にビンゴして、特しょうをとれてすごくうれしかったです。その内容は、ちいさな花火とバーベキューセットでした。

五つ目は、受け入れ家ていの氏次さんの夜ごはんでした。一日目は、カツオのたたきとあまえびとおこのみやきでした。どれもおいしかったです。二日目も、にたような食事でした。おいしかったです。

六つ目は、帰るときに行ったりようまの像があるところです。みやげなどをかい、すごく楽しかったです。

高知県に行くきかいがあれば、また行きたいです。

「楽しかった四日間」

深持小学校5年 中野渡康耀



ぼくは、姉妹都市親善交流に参加しました。ぼくは、飛行機に乗るのが初めてだったので、飛行機の中は、どうなっているのかなあと思いました。飛

行機の中は涼しかったので、気持ちいいなあと思いました。その後、必ず見て下さいと書いてあるビデオがあったので、それを見ました。シートベルトのしめ方や緊急時の対応が書かれていたので、こうすればいいんだなあと思いました。飛行機が離陸する時にスピードがいきなり上がったのでびっくりしました。雲の上はきれいだったの

で、写真を撮りたいなあと思いました。その時、耳が痛くなったので飴をなめました。良くなったので、良かったなあと思いました。羽田空港でおりて、また飛行機に乗りました。飛行機の中で飲み物も配っていたので、アップルジュースを飲みました。そして、高知龍馬空港に着きました。その後、役場に行き歓迎式をしました。その後、ホームステイ先へ行きました。

次の日、カヌー体験をしました。最初は出来なかったけど、慣れたら出来たので良かったです。その日の夜、やまびこカーニバルがありました。花火がとてもきれいでした。

次の日の朝、バナナボートなどに乗りました。バナナボートには、初めて乗ったので、どんなものかなあと思ったら、楽しそうなものだったので良かったです。バナナボートは、落ちそうになったけど、ギリギリ落ちなかったの

た。その後は、ずっと家にいて動画を見ていました。

夜にお別れ交流会をしました。その交流会でタオルをもらいました。

次の日、桂浜を見に行きました。海がとてもきれいでした。その後、昼ごはんを食べて、高知龍馬空港に行きました。そこから飛行機に乗って羽田空港に行きました。羽田でたくさんお土産を買いました。また飛行機に乗って、三沢空港に行きました。

また、こういう交流があったら参加してみたいです。

「川遊びで・・・」

深持小学校5年 中野渡 新



8月4日にとても楽しい川遊びをしました。ぼくは、川遊びをして泳いでいたら、小さい魚、中くらいの魚、大きい魚に出会いました。その魚たちは、とても速くて、とてもかわいい顔をしていました。その時ぼくは、つかまえて食べたらいけないなあと思いました。なぜかという、こんなかわい

魚たちは、ぼくたち人間のようにかわいい魚の子孫たちをふやすことが出来ないと思ったからです。

帰る時は泳いでいきました。そして、最初に会った魚たちより2〜3倍くらい大きい魚に出会いました。ぼくは、この川を泳いで、なぜこんなに魚がいるのかなあと思いました。それはきつと、この川は自然でできて、自然のめぐみからできた、とてもきれいな水が流れているからだと思います。十和田市ではできない川遊びができて楽しかったです。

次にやまびこカーニバルに行きました。やまびこカーニバルには、たくさんのおやたいがありました。たとえば、くじびき、たこやき、アイスクリンダーツなどのやたいがありました。やまびこカーニバルに行く時、ホームステイ先の6年生の大河君が「やまびこカーニバルでは、ピングもあるんだよ。」と教えてくれました。そして、ピングをやりましたが、はずれてしまいました。しかし、大河君は当たって、黒色のすいとうをもらっていました。その時ぼくは、「ほしいなあ、いいなあ」などと考えていました。

ぼくが、このやまびこカーニバルで買ったのは、たこやき、アイスクリンです。アイスクリンは、バナナ味のようでした。とてもおいしかったです。

最後にホームステイ先の方のみなさん、4日というとても長い日々をととても楽しくしてくれて、とてもありがとうございました。

「土佐町で楽しかったこと」

北園小学校5年 照井颯太



高知県土佐町で印象に残ったことは、カヌー体験と川遊びとバナナボートです。

カヌー体験では、最初はおもしろくて、へんなどころに行ったりしました。が、遠くに行っている人がいたので、そこにいそいで行こうと、がんばってこいで、とてもつかれました。カヌーをこいだら、手でこいだほうがスムーズにすすむんじゃないの? と思い、手でこいでみたところ、オールでこいだときよりスムーズに進めますが、オールでこいだほうが速かったです。石にのりあげたり、トラブルがありました。が、無事ゴールにたどりつけました。また、やってみみたいです。

川遊びでは、ライフジャケットを着ていたのに泳ぎにくかったけど、ぬ

いだら泳ぎやすかったです。もぐって泳いだら、でっかい石に魚がいっぱいくっついていて、びっくりしました。川が段差になっている所があったので、みんなで魚とりをしました。とり方は、魚のいそうな所に道具をしかけて、その手前を足でふんで、魚をおいつめてとります。ゴリという魚がいっぱいとれました。大きいのが1匹と小さいのがいっぱい、さわってみたら、大きいのがざらざらしていて、小さいのはつるつるしていました。亀もとりました。亀はおそいと思っていたので、最初、亀を水に入れてそつとして置いたら、すごいスピードでにげるので、つかまえるのが大変でした。そして最後にエビをつかまえていったけれど、1匹もとれなくて残念でした。

そして、バナナボートは、僕の中で一番楽しかったです。始めに、体を水につけて、水になれてからバナナボートに乗りました。最初は、きんちようしていたけど、乗っているとわくわくしてききました。動き出した時は、そんなにすぐくなくて、「スピードを上げて!!」とお願いました。スピードがでてきて、バナナボートが波の上に行って飛んだ時が、ジェットコースターみたいでおもしろかったです。左右にゆられたりして落ちそうになりましたが、僕はがんばって、ぎりぎり落

ちませんでした。

ホームステイ先の、田村さんのお宅で一番楽しかったのは、サバイバルごっこです。ほとんど、かずま君という子と引き分けか、僕が1位でした。サバイバルごっこの時は、鉄ぼうの弾があたるとあぶないので、弾をぬいて、口で鉄ぼうのまねをしたりして遊びました。

初めてのことがばかりできんちようしましたが、楽しい気持ちで4日間すごすることができました。それは、いろいろな人の協力があるからだと思いました。十和田市の方々、土佐町の方々、ホームステイ先の田村家の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

「とても良い体験だった3泊4日間」

沢田小学校6年 橋端真菜



私は、この交流事業で楽しかったことはたくさんあります。

まずは、ダム見学、カヌー体験、川遊びです。ダムの中はすごく寒くて、かべもものすごく冷たくて、びっくり

しました。夏で、しかもこんなに暑いところなのに、ダムの中はこんなに寒いなんておどろきました。

カヌー体験は、初めてで少し怖かったけれど、思っていたよりは上手くできたので、うれしかったです。進んでいくと、上流に近づいてきて、前に進みにくくなってきました。そして、木があるところにつつこんでいききました。とても痛かったです。

やつとのことです。上流について、お楽しみの川遊びの時間になりました。初めのうちは、魚を網で取って遊びました。でも、あきてきたので、滝のほうへ行きました。滝の裏側に入って、滝を内側から見ました。あまりわからなかったけど、きれいな滝が見えました。滝の内側は、こうなっているんだなあと思いました。そのあとに、泳いであそんでいたと、深く足がつかみませんでした。頭までしずんでしまつて、私はどうしようと思いました。でも、近くに浅い場所があったので、しずまずにすみしました。とても怖かったです。あとは、バナナボートなどです。バナナボートは初めてで、水圧や波がすごくて2回も落ちてしまいました。少し怖かったけど楽しかったです。

いろいろな体験をして、とてもすばらしい体験だと思いました。また、ホームステイ先の方々もとてもやさしく

て、良い方達だったので、朝や夜も楽しく過ごしてゆつくり休むことができました。冬に土佐の子が来るときは、家に来る子が、帰りたくならないような気楽な感じで、良い印象を持ってもらえるようにがんばりたいと思っています。土佐に行くのが楽しかったので、冬に土佐の子が来るのも、今からとても楽しみです。

「あつという間の4日間」

藤坂小学校5年 田中 暖



私は、この4日間、姉妹都市の土佐町に行き本当に良かったなと思ったことがあります。それは、「交流をする」ということが出来たことです。私は、ふだん他人と関わりをすることが苦手でしたので、今回の4日間はとてもいい機会でした。

私は、この交流が決まった時から、ずっと心がはずんでいました。交流1日目の朝は、ウキウキとした気持ちで起きました。そして市役所前で「行ってきます。」とあいさつをしました。三沢空港に向かう車の中で、今回の交

流会ではどんなことが待っているのかな、と思っていました。飛行機に乗るのは初めてだったので、飛ぶ時のものすごいスピードと耳をふさぐほどの音におどろきました。高知県に着いた時、青森県よりはるかに暑かったこととセミの鳴き声がにぎやかだったことを覚えていきます。ホームステイ先の筒井さんの家では、シラスや魚など海でとれる物をいただきました。海の近くにある土佐町では、こういう食べ物がたくさんあるんだなあと思いました。シラスや魚はおいしかったです。

2日目は民具資料館や早明浦ダムを見学しました。民具資料館では昔の人々の生活の様子がわかり勉強になりました。昔の人はえらいと思いました。早明浦ダムでは80メートルまで降りて見学しました。地下80メートルはとても寒かったです。今回の交流で1番楽しかったことは、カヌー体験・川遊びでした。とてもきちような体験でした。

カヌーが思うように動かず岩に何回もぶつかり難しかったです。また川遊びでは、泳いだり魚をとったりしたことが楽しかったです。その夜は、やまびこカーニバルを見に行きました。大きなわたあめはおいしかったです、大きな花火はとてもきれいでした。土佐赤牛はとてもやわらかくおいしく食べました。楽しいイベントでもり上がることに

ができました。

3日目は、ホームステイ先の筒井さんといの町という町へ紙すきをやりに行きました。和紙が上手に仕上がって良かったと思います。他にも、版画やうちわも作りました。和紙の資料館も見学し、和紙を使ったいろいろな作品をみて感心しました。

4日目は桂浜へ行き、龍馬像を見に行きました。大きい像に私はびっくりしました。また、土佐犬のセンターがあり、車の上のおりの中にいたのが土佐犬でとても強そうでした。おみやげをたくさん買った後、空港へ行き、土佐町のみなさんとお別れしました。

思い出すと、この4日間は、あつという間に終わりましたがとてもいい経験ができました。一生忘れられない宝物となりました。教育委員会のみな様、土佐町のみな様、そして大町桂月先生ありがとうございました。

「高知県土佐町に行つて」

東小学校5年 池田 麗



私は、家族にすすめられて、土佐町

に行きました。三沢空港についたときから、土佐町はどこなところだろう暑いところかな、言葉は分かるかなという考えながら、飛行機に乗りました。羽田空港で飛行機を降りかえて、高知龍馬空港に到着して、バスに乗るときに、暑くて、少し目のおくがいたくなりました。バスに1時間くらい乗って、あじさいホールについて歓迎式をやりました。歓迎式で私達のあいさつがあつて、自分の出番が来るまで、ドキドキしながら待っていました。出番が来たときに、きんちようしすぎて、声がふるえてしまいました。そして、みんなのあいさつが終わったら今度は、ホストファミリーのあいさつがあつて、自分が行くところを再確認をして、式地さんのお話を聞いていました。そして、式地さんの家に行つて遊びました。ご飯ができたのでみんなでテーブルの周りにすわつて、かんぱいをして、ご飯を食べました。メニューがかつおのさしみ、かつおのたたき、そうめんとオードブルなどがあり、すごくおいしかったです。2日目は桂月館見学と早明浦ダム見学をしてから、昼食を食べて、カヌー体験と川遊びをしました。私は、カヌー体験をしたことがなかったのですごくわくわく、ふるえながら乗りました。始めは、へたくそだったけど、だんだん上手になつ

て来ていました。川遊びでは、ゴリという魚をたくさんつかまえました。どちらもすぐれたのしかったです。3日目は、ホストファミリーといっしょに龍河洞と高知城に行きました。私は、しょう乳石を見たことがなかったのでしょう乳石は、こんなにすごいんだなと思い、すごく感じました。高知城は、大きな城で、びつくりしました。見るところがありすぎて、全部は見れなかつたけど、城の一番上の所できれいな景色を見ました。すごく楽しかったです。最後の日は、桂浜に行きました。桂浜には、龍馬像があつて、その前で、写真をとりました。あと、大きな海があつて、すごくきれいでした。高知龍馬空港でおわかれをして、少し悲しかったけど4日間は、私にとつてすごく勉強になり体験できないような事があり、すてきな思い出になりました。一生の宝物です。

「土佐町の思い出」

三本木小学校5年 川嶋優希



わたしは、8月3日から8月6日に

高知県土佐町に行つて来ました。

土佐に行ったのは8人で、十和田市内のいろいろな小学校の人とお友達になりました。

飛行機は初めてではありませんでしたが、乗りかえがあつたので、少し心配でした。

着いた日は、土佐町の役場でかんげい会があり、きんちようしながら自こしようかいをしました。

ホームステイは初めてで、わたしが世話になつたのは森さんという家でした。森さんの家は5人家族で、犬が3びきいました。

最初は、1人でとまるのが不安でしたが、いろいろとおしゃべりをしていうちに仲よくなりました。森家の3姉妹がけん道を習つていてびつくりしました。

なぜなら、わたしの兄と妹もけん道をやっていたので話がもり上がりました。

4日間で楽しかったことは、カヌー体験、川遊び、さめうら湖で遊んだことと、仁淀川で魚をとつたことです。

カヌー体験では、最初はこぐのがむずかしくて、ぶつかつてばかりいたけど、後からだんだんできてまつすぐこげるようになりました。

川遊びでは、魚をとったり、泳いだりしました。魚をとるのはむずかし

かったけど、がんばつて何匹かとりました。

さめうら湖では、バナナボートに乗ったり、水上バイクに乗ったりしました。バナナボートは最初、こわいかなあと思つていたけど、やつてみたら楽しかったです。

仁淀川では、ホームステイ家族との交流で、仁淀川で魚やえびをとりました。小さい魚や、大きい魚、たくさん魚がいました。

川遊びで、学んだことがあります。それは、水のこわさです。もし、ライフジャケットを着ないで泳いでいたら、おぼれていたかもしれないし、地面に足がつかなかったので、こわかったです。

冬には、土佐町の人があるので、いっしょに雪遊びをしたいです。

また、来年も、宮崎県か岩手県に行つてみたいです。





おはなしボランティアさん

ありがとう!!

みつば保育園

今年もおはなしボランティアさんが、第2、第4水曜日に絵本の読み聞かせをしてくれています。この読み聞かせも2年目を迎えました。子どもたちも待ちどろしいようで、帰りには「またきてよ」という言葉もたくさん聞かれるようになっていきます。いろいろな方に絵本を読んでもらってとても嬉しそうです。

夏休みには、小学校の先生が読み聞かせに来てくれました。子どもたちもいつになく緊張した様子で聞いていました。先生からも「姿勢良く聞いてくれました」「感想も言ってくれました」などのコメントもいただきました。来てくれた先生には、保育園の子どもたちの姿を知っていただく良い機会になったのではと思っています。これからもぜひ読み聞かせに来てほしいと思います。



みつば保育園

楽しかったぞらまつり!!

7月13日に、ぞらまつりをしました。

おにぎりづくり、アメゴつかみ、踊りに、ボランティアの岸本はたち会の方の出店や花火の他に、保護者の協力により絵本「エルマーの冒険」の探検をしました。

子ども達は先生の作ってくれた勇気の出るミサンガをつけ、自分で作ったリュックを背負い、二人組でさあー出発!!いざ行くとするとワクワクドキドキンドキン おそろおそろサイの部屋へ・サイとのジャンケンゲーム お土産にチューインガムをもらいルンロン!つぎにライオンの部屋へ・ライオンのたてがみにリボンを結び、キャンディーをもらってリュックの中へ。最後はピョンピョ「岩やワニの背中を渡ってすべり台をすべり、トンネルを



くぐるとゴリラが出現!「キャアーこわい!」とあとずさり、涙ながらにゴリラとつなひき!!それから小さなリュウの背中に乗せてもらって「わあーきれい!」と景色を眺めながら大きなリュウに会いに行きます。そこに宝箱があり、「何がはいちゅうろう?」と開けてみると、リュウのメダルと刺繍の名前のついた虫めがねの素敵なプレゼントがありました。「すごい!」「うれしい!」何日かけて準備してくれた探検は、絵本の世界がとびだしてきたよう!!「うわー!」と歓声をあげ「おもしろかった。もう一回やりたいなあ」と喜んだ子ども達。この探検での思い出は、いつまでも子ども達の心の中で生きていくことと思います。保護者の方のご協力ありがとうございました。

土佐町小学校

土佐町小学校 六年

六月六〜八日に僕たちは、修学旅行に行きました。特に印象に残ったのは、北淡震災記念公園で震度七の揺れを体験したこと。周りの音も、めっちゃめっちゃで何かが割れる音がしたり、縦と横の揺れがすごく恐ろしかったです。次に印象に残ったのは、ユニバー



サルで乗ったスパイダーマンです。3Dで迫力があって怖かったです。おまけに途中で止まるトラブルがあったので、すごく怖かったです。他にもグリーコ工場や東大寺、海遊館にもいきました。修学旅行は、すごく勉強になりましたし、とても楽しい三日間でした。

土佐町中学校

土佐町をPR!

「土佐町の未来と、
自分たちができる地域貢献」

7月9日に中学3年生が、総合的な学習の時間の一環で、サニーマートアクシス南国店と中万々店で土佐町の地産品を販売しました。

中万々店では、販売開始後4時間足らずで完売。南国店もほぼ完売でした。当日の様子は、テレビのニュースでも放映されました。

本活動を実施するにあたり、ご支援・ご協力をいただきました関係者の皆様方に心からお礼申し上げます。

生徒の感想より

土佐町を活気づけるために、僕たちが頑張らなければならないと思います。僕たちが大人になった時に、この土佐町がもっともっと住みよい町になっているために、この活動を後輩にも伝えて、続けていってほしいと思います。

これからも、土佐町の未来のために、自分たちができる地域貢献に取り組んでいきたいと思っています。



嶺北高校

商い甲子園出場

嶺北高校 商業研究部

8月4日(土)に安芸市安芸本町商店街において、全国から多くの高校生が参加して第5回商い甲子園が開催され、嶺北高校の商業研究部も出場しました。

今年は、嶺北の魅力をたくさんの人に知ってもらいたいと思い、嶺北八菜をはじめ、ひやっとシリーズ(ひやっとあんちゃん、チョッピー、姫ちゃん)、テレアなどの米粉を使った商品を宣伝・販売しました。



特に、土佐あかうしメンチカツバーガー、土佐あかうしメンチカツサンドは、大変な人気で、早々に売り切れ、その他の商品も完売することが出来ました。

また、商品陳列棚(組み立て三段式)や生徒の作成したテレアちゃん(キャラクター)も好評でした。

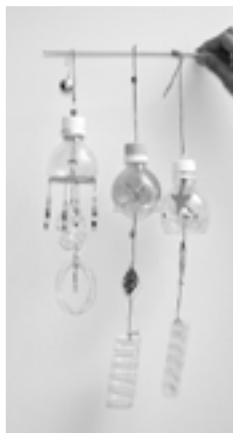
今回入賞することはできませんでしたが、嶺北のPRという大きな目的を果たし、全国の高校生との交流を深めることができました。



学校応援団は学校が必要とする活動について応援する組織です。学校の求めと地域の力をあわせて、地域全体で学校を支える仕組みを作ります。

夏休みの14日間、小学校の多目室で放課後子ども教室を開催しました。毎回、約10名の子どもが参加し、学校応援団の見守りのなか宿題や読書、ペットボトルで作る風鈴や新聞紙で作るけん玉を工作したり、絵手紙を描いたりしました。出来上がったけん玉で遊び、絵手紙は暑中見舞いで出したりと、すてきな作品がたくさんできみんな大満足でした。

皆さんも土佐町学校応援団で子どもたちを見守っていきませんか。

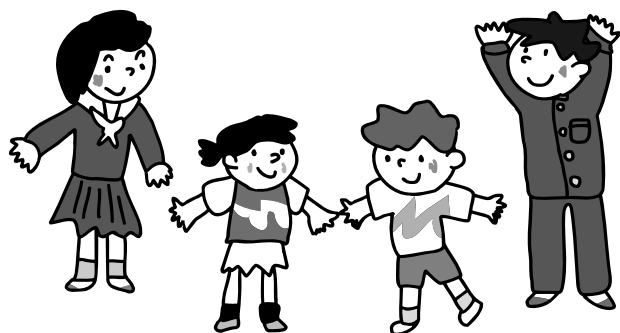


お問い合わせ

土佐町教育委員会事務局 (電話 82-0483)
土佐町学校応援団事務局 (電話 82-0610)

教育相談開催のお知らせ

教育委員会では、土佐町中学校のスクールカウンセラー竹口佳昭先生のご協力により、教育相談を毎月開催することになりました。子育てでお悩みの方、どのようなお話でも結構です。知り得た情報や秘密は固く守られ、学校その他関係機関への連絡・情報提供は一切行いません。完全予約制とさせていただきますので、ご希望の方は開催日3日前までに教育委員会までご連絡ください。



1 場 所	土佐町保健福祉センター 教育相談室
2 開 催 日	9/24 (月)、10/29 (月)、11/26 (月)、12/17 (月) 1/21 (月)、2/18 (月)、3/11 (月)
3 時 間	9:00~12:00 (予定)
4 申 込 先	教育委員会事務局 濱田宜志 (Tel 0887-82-0483)
5 申込方法	開催日3日前までに電話連絡ください。(先着順)

◆親子が、自由に気軽に交流できる場として「ポッポ広場」をご利用ください。

「ポッポ広場」は毎日、どこかで開いています。

月	保健福祉センター 母子室	(9:30~15:30)
火	田井コミュニケーションセンター樹華夢	(9:30~11:00)
水	保健福祉センター 母子室	(9:30~15:30)
木	みつば保育園 保健福祉センター 母子室	(9:30~11:00) (9:30~15:30) ※どちらも開いています。
金	保健福祉センター 母子室	(9:30~15:30)

◆子育て支援センターでは、保育園に行っていないお子さんと保護者の方を対象に、気楽に遊べる場所を提供し、いろいろな遊びを一緒に楽しみながら、親子のふれあいや交流をおこなっています。

ー子育てを応援しますー

子育て支援センター
ポッポ広場

子育て相談

(でんわ 82-0483)

来所または電話で子育てに関する悩みや相談を受け付けています。一人で悩まずに電話をください。

◎13:00~16:00



土佐町剣道だより

土佐町少年剣道代表 高石清賢

■第47回全日本少年剣道錬成大会 小学生団体3回戦進出

土佐町少年剣道は、7月31日・8月1日に日本武道館で行なわれた第47回全日本少年剣道錬成大会に小学生団体、中学生団体で出場し、小学生は2回戦からの出場で初戦、釜石剣道（宮城）に4-0で快勝。3回戦は、優勝候補で本大会三位の強豪東松館（東京）に0-3で敗れました。中学生は、1回戦で高平剣友会（東京）に1-2で逆転負けしました。

今回3年ぶりの入賞はなりませんでしたが、日本武道館という大舞台で正々堂々、全力で戦い土佐町の剣道を見せてくれました。

応援いただいた皆様、貴重なご寄付をいただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

小学生団体 森有芽香、多田優斗、川田琉稀、川村萌々子、和田晃介、右城朋香、和田創貴、光富 鈴、井手あかり、千頭里咲、高橋尚希

■全国スポーツ少年団剣道大会予選 全国出場 和田晃介、千頭里咲

スポーツの全国大会県予選において和田晃介が小学生団体で、千頭里咲が

中学生女子個人で全国大会出場権を獲得しました。また、森有芽香は小学生団体、井手あかりは中学女子個人の補欠選手に選ばれました。選手は、来年3月に佐賀市で行なわれる全国大会に出場します。

■県中学校総合体育大会 男女団体 第三位、 個人4名が四国大会へ

土佐町中学校は、県総体の団体で男女ともに三位に入賞しました。個人では、井手あかりの三位入賞他、高橋尚希、千頭里咲、近藤亜実の4名が四国大会（ベスト8以上）に出場しました。団体個人ともに全国に後一步、でも本心に立派な成績です。

■県下少年剣道夏季錬成大会 4名が入賞

8月5日、県下小学生の個人選手権である県下少年剣道夏季錬成大会が行なわれ、土佐町少年剣道の4名が入賞を果たしました。

小学六年生男子個人 奨励賞（ベスト8） 和田晃介
小学低学年女子個人 三位 永野楓佳
奨励賞（ベスト8） 高橋佑香
岡部 凜

■嶺北高校男子 玉竜旗全国剣道大会出場

7月27日・29日に行なわれた、玉竜旗全国高等学校剣道大会に出場した嶺北高校男子は、昨年に続き初戦を突破しました。昨年以上の成績（3回戦）を目指していましたが、残念ながら2回戦で敗退しました。

1回戦 柴田高校（宮城）
2回戦 日吉ヶ丘（京都）



▶全日本少年剣道錬成大会に出場した土佐町少年剣道チーム

10月は「里親月間」です

里親とは、親の病気、家出、離婚その他のいろいろな事情で家族と生活できない子ども達を自分の家庭に迎え入れて養育する人の事をいいます。

里親制度は、児童福祉法に基づいて、里親となる事を希望する方に子どもの養育をお願いする制度です。

一般的に、特別な方だけが里親になれるイメージを持たれている人が多いようですが、そんなことはありません。実際の里親は、どこにでもいる普通の家庭のお父さんお母さんたちです。そして子どもたちはどこにでもある家庭で生活を送っています。

子どもたちと共に暮らし、温かい家庭的な雰囲気の中で健やかな成長を見守りながら、自立を支援する里親にあなたもなりませんか。

里親に関心がある方は
土佐町教育委員会

（☎082-0483）

または

高知中央児童相談所

（☎088-866-6810）

にお問い合わせてください。